

— 学校で学ぶ ・ 家庭で生きる ・ 地域で創る これが上鷺宮 —



# 上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

[http:// nk-kamisagi-e. a. la9. jp/](http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/)

開校39年

No.430

平成29年度

学校だより 7月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

## 改めて江戸しぐさを

校長 堀 聡明

「江戸しぐさ」は、多くの人間が暮らしていた江戸の街だからこそ、皆が心地よく暮らしていけるように、当時の人々が編み出した生活術です。そして、現代にも通じる教えです。

『傘かしげ』は、狭い道で互いに傘を差しながらすれちがう時に、傘を外側に傾ける動作です。傘もぶつからず、雨粒も相手にかかりません。思いやり、譲り合いの心ですね。同様に、『肩引き』という動作があります。これも、狭い道で人が行き交うときに、肩がぶつからないように体を少し斜めにしてすれちがいます。また、『七三歩き』は、歩いている道の七は空けておき、自分は三の幅で歩くことです。『とおせんぼしぐさ』は、言葉通りです。道いっぱいに広がって歩いていて、後ろの人が前に進めない状態をいいます。これは迷惑なことです。他にも『無理押し』『韋駄天しぐさ』

など、他の人を不快な気持ちにさせたり、危険な目に遭わせたりする行動も、いけない『しぐさ』として取り上げられています。

さて、私が玄関で児童を迎えていると歩道を元気いっぱい広がって歩いてくる小集団を見かけます。上鷺宮小学校の子どもたちです。道行く人とすれちがう時にどうするかなと気になります。多くの場合は、大人の方々が避けてくれます。しかしほとんどの方々が、振り向き眉をしかめています。子どもたちは気付かないのです。

『六つしつけ』という言葉があります。大人の責任として、6歳までには、まねでもいいから大人のしぐさを覚えさせなさいということです。大人が見せなければならぬのです。社会全体の課題です。もちろん、学校も含めてのことです。

以上、梅雨の晴れ間の憂い事でした。明日は雨でしょうか。さて、子どもたちは、どのような様子で登校して来るのでしょうか。

7月の生活目標

身のまわりをきちんとしよう